



水源列車が走ったよ！！

臨港パーク(**APR/29/2017**)

「第88回かながわ中央メーデー実行委員会」の要請により、臨港パークで水源列車の運行による水環境保全等のPRを行いました。スペシャルゲストとして、クラウン TOGA さんも乗車したよ。

臨港パーク 491 名が乗車

<<書庫>>

【スペシャルゲスト クラウン TOGA さんも乗車】

当日は晴天に恵まれ心地よい海風を受け颯爽と水源列車は走りました。子ども 300 名、大人 191 名に、ご乗車いただきました。

乗車いただいた皆様からの質問で多いものは、「何で水源列車なの?」、「水で走るの?」など。乗車いただけると運転手が解説をします。



クラウン TOGA さん

【水源列車の目的】

水源の恩恵に浴する主として神奈川県東部の大都市地域（横浜市、川崎市等）を含む拡大流域圏の市民の立場から流域全体を環境的に持続可能な地域社会を形成することを目的とする。そのために水源環境の重要性を理解する次世代を育成し、水源地域から産出される木材の活用を促進し、水源地域を活性化することをネットワーク型で協働して行う。あわせてローカルアジェンダと地球温暖化の防止の促進を図る。



水源列車の初運行 は・・・

<事業名>

横浜開港150周年記念事業「水のサマーフェスタ」in 水道局西谷浄水場

<運行日>2009年8月22日(土)

<場所>横浜市水道局西谷浄水場内

【実施状況】

運行は、10:00に開始し、15:30までの5時間半(含む休憩10分間ほど)実施し、600名ほどの親子が楽しく乗車した。レール長20m間を往復おおよそ乗車時間を含めて往復3~4分の時間でピストン輸送し、1時間で約120人が乗車したことになります。様子としては、並んで待って絶え間なく乗車した感があります。子供対大人の乗車比率は、70対30、おおよそ大人一人で子供は2~3人乗車でした。桂川・相模川流域のパネル展示も行い、待っている間に流域&流域協議会の紹介も行った。記念乗車券は300枚用意したが、残りの乗車者にはチラシで補った。

【成果】

フル操業に近く、600名ほど乗車。家族連れで乗車し、ほとんどの家族が記念撮影する情景が見られた。乗車体験も含めて、おおむね大好評だったとの関係からもお聞きしています。子供たちの感想は、「木の香りがした」「気持ちよかった」「楽しかった」が圧倒的に多かった。